1977年「未知との遭遇」、1997年「コンタクト」
そして2017年「メッセージ」

20年に一度誕生する、全ての人の胸を打つSF感動作!

アカデミー賞作品賞・監督賞・脚色賞他計8部門ノミネートを初め
名だたる映画賞を席巻!

［受賞一覧］

ナショナル・ボード・オブ・レビュー
★主演女優賞(エイミー・アダムス) ★作品トップ10

アメリカ映画協会賞
★作品トップ10

ブロードキャスト映画批評家協会賞
★脚色賞 ★SF/ホラー映画賞

オンライン映画批評家協会賞
★脚色賞

ゴッサム・インディペンデント映画賞
★ゴッサムトリビュート(エイミー・アダムス)

ワシントンDC映画批評家協会賞
★脚色賞

サンフランシスコ映画批評家協会賞
★脚色賞 ★編集賞

ダブリン映画批評家協会賞
★監督賞(ドゥニ・ヴィルヌーヴ)
★女優賞(エイミー・アダムス)
★脚色賞

ネヴァダ映画批評家協会賞
★脚色賞

フロリダ映画批評家協会賞
★視覚効果賞

オースティン映画批評家協会賞
★脚色賞 ★作品トップ10

ノースカロライナ映画批評家協会賞
★脚色賞

シアトル映画批評家協会賞
★撮影賞 ★視覚効果賞 ★作曲賞

アイオワ映画批評家協会賞
★主演女優賞(エイミー・アダムス)

ハワイ映画批評家協会賞
★視覚効果賞 ★SF/ホラー映画賞

デンヴァー映画批評家協会賞
★SF/ホラー映画賞

セントラルオハイオ映画批評家協会賞
★作品トップ10

アメリカ脚本家組合賞
★脚色賞

英国アカデミー賞
★録音賞

(2017年3月2日現在)

本作を手掛けたのは独創的なストーリーと映像センスを誇るドゥニ・ヴィルヌーヴ監督。SF映画を作るのが10歳の頃からの夢だったという監督は米作家テッド・チャンの短編小説「あなたの人生の物語」に心底惚れ込んだという。名だたるSF文学賞を数多く受賞したこの原作のもとに、エイミー・アダムスやジェレミー・レナー、そしてフォレスト・ウィテカーというアカデミー賞®キャストを結集させて映画化した本作は本年度アカデミー賞®に8部門ノミネートという快挙を達成。

オールタイム・ベストSF第1位!
(SFマガジン創刊700号記念／海外短篇部門)

1999年
シオドア・スタージョン記念賞

2000年
優れたSF作品に贈られるネビュラ賞受賞

原作本「あなたの人生の物語」(Story of Your life)
ハヤカワ文庫刊

5.19［金］公開

監督:ドゥニ・ヴィルヌーヴ(「灼熱の魂」「プリズナーズ」「複製された男」「ボーダーライン」「ブレードランナー 2049」)
キャスト:エイミー・アダムス(「アメリカン・ハッスル」「バットマンvsスーパーマン ジャスティスの誕生」)
ジェレミー・レナー(「ハート・ロッカー」「シビル・ウォー/キャプテン・アメリカ」)
フォレスト・ウィテカー(「ローグ・ワン/スター・ウォーズ・ストーリー」「ラストキング・オブ・スコットランド」)
原作:テッド・チャン(「あなたの人生の物語」ハヤカワ文庫刊) /サントラ:ユニバーサル ミュージック
原題:Arrival 配給:ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント
message-movie.jp SonyPicturesJP SonyPicturesJP sonypicturesjp

映画盗撮は犯罪!
発見したら
www.eigakan.org
0120-550098
映画館に行こう!実行委員会 違法対策室

エイミー・アダムス　ジェレミー・レナー　フォレスト・ウィテカー

本年度アカデミー賞®受賞 音響編集賞

作品賞 監督賞(ドゥニ・ヴィルヌーヴ) 脚色賞(エリック・ハイセラー) 撮影賞 美術賞他 計8部門ノミネート

ある日突然、巨大飛行体が地球に。
その目的は不明——

メッセージ

ソニー・ピクチャーズ リリーシング インターナショナル AND ステージ 6 フィルムズ提供 フィルムネーション エンタテインメント AND ラヴァ ベアー フィルムズ
21 LAPS エンタテインメント製作 ドゥニ・ヴィルヌーヴ作品 エイミー・アダムス ジェレミー・レナー "ARRIVAL" フォレスト・ウィテカー マイケル・スタールバーグ 視覚効果スーパーバイザー ルイ・モラン
衣装デザイン レネー・エイプリル 音楽 ヨハン・ヨハンソン 編集 ジョー・ウォーカー プロダクションデザイン パトリス・ヴァーメット 撮影 ブラッドフォード・ヤング,ASC 共同プロデューサー マイケル・A・ジャックマン
製作総指揮 スタン・ウロドコウスキー エリック・ハイセラー ダン・コーエン カレン・ランダー トーリー・メッツガー ミラン・ボベルカ 製作 ショーン・レヴィ ダン・レヴィン アーロン・ライダー デヴィッド・リンド
原作 テッド・チャン「あなたの人生の物語」 脚色 エリック・ハイセラー 監督 ドゥニ・ヴィルヌーヴ

Message-movie.jp FILMNATION LAVA BEAR 5.19［金］公開 21 STAGE 6 SONY

言語学者ルイーズが解読した、人類へのラストメッセージとは——。

彼らは人類に何を伝えようとしているのか?

テッド・チャンの名作『あなたの人生の物語』の、
想像よりもずっと誠実な映画化。
ヘプタポッドのあの表義文字がスクリーンに現れた時の感動……!
とても素敵な映画でした。良かった。好きです。
新海誠さん(『君の名は。』監督)

娘ハンナの名前に込められた意味。
12分割で届けられた「メッセージ」の意味。
それらに気づいた時、
この広大な宇宙に耳を澄ませたくなるでしょう。
山崎直子さん(宇宙飛行士)

12分の1ピースの船内にルイーズが入って行くときの精神・感覚、
『メッセージ』は**最高の体験を私たちに与えてくれた。**
北村道子さん(スタイリスト)

わたしのことば
あなたのことば
ことばは橋かな
それとも暗い穴かな
それはあなたの世界の広がり
それはわたしのこころの深さ
これは、**あなたの物語**
これは、**私たちみんなの物語**
前田真宏さん(『エヴァンゲリヲン新劇場版:Q』監督)

あなたはどう思う?ヒロインの最後の選択を。
宇宙と時間と人生と愛について問いかける映画です。
町山智浩さん(映画評論家)

なんて美しく愛に満ちたSF映画なんだろう。
謎の知的生命体との会話方法を見つけようとするルイーズの根気強さ、
女性としてのあの決断力に胸が熱くなり、
そして**生まれてきたことに感謝**したくなった。
女はたくましい!
新谷里映さん(映画ライター)

ただのファースト・コンタクト映画では終わらない。
これはヒロインが新しい世界認識の方法を手に入れ、
自分の人生を選び取る物語でもあるのだ。
エイミー・アダムスの繊細で懐の深い演技が
かつてないリアリティを与えている。
松浦泉さん(編集者・ライター)

SFというジャンルでしか実現できない
どうしても巧く語れない感動というものが
確かにあります。
どうやら**今年の映画は**
この一本で終わった気配です。
押井守さん(『GHOST IN THE SHELL / 攻殻機動隊』監督)

未知の言語体験から
人類は何を発見するのか。
ドゥニ・ヴィルヌーヴが、断絶と対立の時代に向けて放つ
渾身の「メッセージ」。
大友啓史さん(『るろうに剣心』監督)

とても勇敢な女性に出会えます。
今起きてることへの挑戦、
未来への覚悟、、、
何もかもがすごい決断なのです。
望月理恵さん(フリーアナウンサー)

凄い。
物語の紡ぎ方、語り方、
物語の中に込める正しい志。
どこをとっても未来を向いている。
本当に凄い。
樋口真嗣さん(『シン・ゴジラ』監督)

プロローグ

湖のほとりで戯れる母親のルイーズと幼い娘のハンナ。その後、娘は病にたおれ
最愛の娘との別れがやってくる——

出現 突如地上に現れた巨大な飛行物体

地球上の12カ所に突如現れた謎の球体型飛行物体。言語学者のルイーズ(エイミー・アダムス)は"彼ら"がどこから何のためにやってきたのかを探るためその言語解読を軍から依頼され、物理学者のイアン(ジェレミー・レナー)と18時間おきに112分間だけ入口が開く"殻"と呼ばれる飛行体の内へと向かう。

コンタクト ヘプタポッドと接触

"殻"の内部には地上とは異なる重力が存在した。現れたのは透明の壁越しに現れた7本の脚(ヘプタポッド)で動く影のような生き物。脚から黒い煙状のものを噴射し、一瞬にして意味を形作るサークル型の"表意文字"を発する。その文字の解読に没頭するうちにルイーズは時間が逆行するような奇妙な錯覚に陥っていく——。

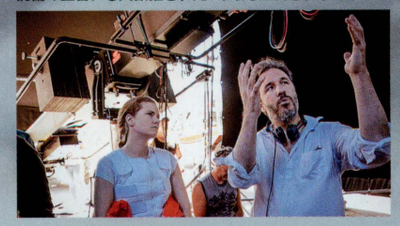
攻撃か? それとも——「武器を与える」その真意とは。

彼らとコンタクトを取り始めて一ヶ月足らずようやく文字の解読に成功したルイーズ。「武器を与える。時間はない」その言葉の衝撃に、各国で攻撃命令が発令される。だが別の解釈の可能性を探るため再び"殻"へと向かったルイーズは、そこで出逢った奇妙な体験を通して、人類に向けた美しくもせつないラストメッセージを知る——。

彼らは我々に何を伝えようとしているのか。

エピローグ

ある驚きと胸が締め付けられるほどの結末に、世界各国でリピーターが続出。
是非劇場でこの"メッセージ"を受け取ってください。

ドゥニ・ヴィルヌーヴ監督 プロフィール

1967年生まれのフランス系カナダ人。2010年の『灼熱の魂』がアカデミー賞®外国語映画賞にノミネートされ、さらにニューヨークタイムズ紙によって2011年最高の映画の一つに選ばれる。13年のハリウッドデビュー作『プリズナーズ』はアカデミー賞®撮影賞にノミネートされた。その他『複製された男』や『ボーダーライン』も世界中で高い評価を受け、あのSF映画の金字塔『ブレードランナー』続編の監督にも大抜擢された、今最も注目される奇才。